



Marineインテリアのお手入れ方法

Sunbrella®のファブリックを美しく保つには、毎月、きれいな冷水をホースでかけ、汚れを洗い流してください。これにより、汚れがファブリックにしつこく染み込むのを防ぎ、クリーニングの頻度を減らすのに役立ちます。ほとんどの環境で、2、3年に一回は、徹底的なクリーニングが必要です。

一般的な軽いクリーニングの方法

- 付着した埃をブラシで落とします。
- ウール用洗剤のWooliteや台所用洗剤のDawnなど、マイルドな洗剤60ccを、3.8Lのぬるま湯に溶かして、洗浄液を準備します。
- スポンジまたは柔らかな毛ブラシを使用して、汚れを落とします。
- 洗浄液をファブリックに浸透させます。
- 洗剤が残らないように十分にすすぎます。
- ファブリックを空気乾燥させます。

部分洗い

- スプレーボトルを使用して、低刺激洗浄液を軽く吹きかけます。
- スポンジまたは非常に柔らかい毛ブラシを、軽くこするように当てて、溶液を汚れに浸透させます。
- 洗剤が残らないように十分にすすぎます。
- 清潔で柔らかいタオルやスポンジで、余分な水分を吸い取ります。
- ウェット型真空掃除機を使用するか、またはその他の方法で余分な水分を吸い取ります。
- 空気乾燥させます。残っている洗剤がすべて除かれるまで、上記のすすぎと吸い取りのステップを繰り返します。

着脱可能なSunbrellaファブリックの場合

手洗い

- 低刺激洗剤60ccを3.8Lのぬるま湯に溶かした洗浄液にファブリックを浸します。
- 必要に応じて、スポンジまたは柔らかな毛ブラシを使用します。
- 洗剤が残らないように十分にすすぎます。
- 空気乾燥させます。

洗濯機洗い

洗濯機を使用して冷水で洗濯します。洗濯するファブリックの分量に合わせて、通常の量の低刺激洗濯用洗剤を使用し、240ccの漂白剤を加えます。ファブリックを空気乾燥させます。

しつこい汚れと白カビの汚れに対する徹底的なクリーニングの方法

Sunbrellaファブリックは、白カビの成長を促進しませんが、汚れやその他の異物をファブリックから取り除かない場合、それらが原因でカビ汚れが発生する場合があります。しつこい汚れを落とすには：

- 240ccの漂白剤と60ccの低刺激洗剤を3.8Lの水に溶かした洗浄液を準備します。
- 全体にスプレーしたら、15分間そのままにして、洗浄液をファブリックに浸透させます。
- スポンジ、清潔なタオル、または非常に柔らかな毛ブラシを使用して、汚れを落とします。
- 洗剤が残らないように十分にすすぎます。
- ファブリックを空気乾燥させます。
- カビや白カビがひどい場合は、漂白剤の量を増やすことができます。特定の染みの落とし方は、当社のStain Chart（染みのお手入れ一覧表）をご覧ください。

www.sunbrella.com/stainchart

Sunbrellaファブリックの再処理

Sunbrellaファブリックは、数年間持続するようデザインされた独自の防水・防汚加工が施されていますが、徹底的な洗浄の後、当初の機能を発揮できるよう防水・防汚スプレー等を使用する必要があります。Glen Raven®は、米国で入手可能な303® Fabric Guard™および米国外で入手可能なTex®Aktivの使用を推奨しています。

再処理の実施方法：

- いずれかの方法で、Sunbrellaファブリックを洗浄します。
- Sunbrellaを完全に空気乾燥させます。
- 容器の説明に従って、十分に換気されたエリアで、再処理用のスプレーを塗布します。

クリーニング店

クリーニング店の適格性を確認するため、クリーニング店にSunbrellaファブリックを扱った経験があるかどうか、並びに洗浄と再処理の必要事項に関する知識について問い合わせてください。

Sunbrellaファブリックはドライクリーニングしないでください。

役立っヒント

漂白剤を使用するときは、Sunbrellaファブリックの周りのエリアを保護します。漂白剤はSunbrellaファブリック以外の部位を変色させる可能性があります。必ずSunbrellaを十分にすすぎ、漂白剤を完全に落とします。

漂白剤を使用してお手入れを行う場合は、環境への配慮を怠らないください。漂白剤は、周囲の自然環境に悪影響を与える可能性があります。当社では、水域に囲まれた土地や、影響を受ける可能性のある環境においては、漂白剤の使用を勧めていません。

Sunbrellaは非常に素早く空気乾燥します。乾燥機を使用する必要はありません。

ファブリックにしわができた場合、必要であればアイロンを使用できます。ただし、合成繊維の設定のみで使用してください。アイロンによっては、合成繊維の設定でも推奨温度を超えるものがあるため、全体をアイロンがける前に、最初に目立たない部分に「ためしがけ」をしてください。

スチーマーやスチーム設定にしたアイロンを使用しないでください。

詳細は、336.221.2211までお電話でお問い合わせください。